

伝統を支えるための新たな挑戦



たけだ きよえ
武田 規与枝さん(新庄中町)

撮影場所：株式会社タケツネ(朝日町)

「一度手にとって見ていただきたいです。ものの良さには絶対の自信があります」。

短大を卒業後、叔父が経営する大正8年創業、来年5月で100年を迎える輪奈ピロード織物の老舗に就職。幼い頃から機織りの音を聞きながら育った武田さんにとって、輪奈ピロードづくりの技術の素晴らしさや貴重さがわかったのは、この仕事を就いてからだといいます。「催事に行くようになって、輪奈ピロードの希少性を外から教えてもらうこともあり、輪奈ピロードの魅力をより強く感じるようになりました」。

輪奈ピロード製品ができるまでには、織り、紋切り、針抜き、精錬、染め、そして仕立てなど多くの工程があり、

その全てにおいて細心の注意が要求されます。「和装コート1着を作るのに必要な生地は11m50cm。とてもデリケートな織物なので、満足いただける品質を保つことが何より大切」。検品を手がける武田さんの目は正確無比。伝統の品質を守っていくためには不可欠な技術です。

武田さんの一番の励みは、こだわりぬいた輪奈ピロードの美しさをお客さんに認めてもらえること。「地場産業として長浜の地で織られていることを、地元の人に知ってほしい。ものづくりの現場を見ていただければ、きっとその素晴らしさが伝わるはず」と自信をにじませます。

古くから続く産業で叫ばれる職人不

足はピロード業界も同じ。そんな中、武田さんがいま最も必要と考えているのは、後継者の育成ではなく、まず自分が育っていくことだといいます。「家族経営の小さな会社なので、何でもできるように技術を身に付けなければ。いまは作る人が前に出てくる時代。自分がそうなる時も遠くないはず」と、伝統を支えていく責任と使命を自らに与えます。

伝統を担っていくだけでなく、時代に合った新しい製品の展開にも目を向けます。「従来やってきたことだけではだめ。着るものだけではなく小物など、輪奈ピロードの持つよさを生かして、他のものにもうまく転換していけたら」と、意欲を燃やす武田さん。次の100年に向けて、努力と挑戦が続きます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課（☎65-6504）まで申込みください。



つたい歩きができるようになりました！これからニコニコ笑顔で大きくなってね。

片岡
衣音
ちゃん(平成29年9月生まれ)
(元浜町)

北澤
綾奈
悟夕
ちゃん(平成27年9月生まれ)
(平方町)



これからも元気いっぱい遊んでね！いつもありがとう。

まちの人口	平成30年7月1日現在	人口118,660人	男58,064人	女60,596人	世帯数45,503世帯
	平成30年6月中の異動	転入245人	転出229人	出生68人	死亡92人
				婚姻31件	



植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設にも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報課まで。